

2015年5月20日

各位

東京海上ホールディングス株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目2番1号
(コード番号 8766 東証 第一部)

東京海上グループの2015年度利益計画（修正純利益ベース）について

東京海上ホールディングス株式会社（取締役社長 永野 毅）は、2015年度利益計画（修正純利益ベース）を策定いたしました。

なお、2015年度より新中期経営計画（「To Be a Good Company 2017」）を開始するにあたり、今回より利益指標を変更しております。

グループ全体の利益指標につきましては、比較可能性を高める観点から、財務会計に近づけることを基本的な考え方とし、当期純利益を修正した「修正純利益」をグループ全体の利益と位置付け、これを分子とした「修正ROE」をグループ全体の経営指標と致します。

一方、各事業別の利益は、それぞれの事業特性に照らして取り組み成果をより適切に示す観点から、これまでの定義を継続致します（ただし、国内生保事業では、これまでの Traditional Embedded Value（以下「TEV」といいます）から、経済価値をより適切に反映することが出来る Market Consistent Embedded Value（以下「MCEV」といいます）ベースに移行します）。

修正純利益、修正ROE、事業別利益の定義の詳細、および、従来の修正利益からの変更点は、別添資料をご参照ください。

1. グループ全体の利益（修正純利益）

2015年度におきましては、平年並みの自然災害の影響を見込み、2014年度対比+37億円の3,270億円の修正純利益を目指します。なお、2014年度は国内海外共に自然災害が少なく、これを平年並みに補正したベースの諸指標は次葉をご参照ください。

(単位：億円)

	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 計画
修正純利益	1,631	2,437	3,233	3,270
修正純資産	25,240	29,595	36,380	42,100
修正ROE（新定義）	6.5%	8.2%	8.9%	7.8%

収益・ROEは、企業価値を的確に把握し、その拡大に努める観点から「修正純利益ベース」で定めます。
修正純利益の詳細は別添資料をご参照下さい。

【参考：補正ベース】

修正純利益：自然災害の発生保険金を平年並みに補正

修正純資産：株価、為替を2014年度末と同水準に補正

(単位：億円)

補正ベース	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 計画
修正純利益	1,943	2,552	2,981	3,270
修正純資産	37,885	38,253	39,249	42,100
修正ROE (新定義)	5.1%	6.7%	7.6%	7.8%

2. 各事業別利益

2015年度におきましては、国内損害保険事業、国内生命保険事業、海外保険事業、金融・一般事業それぞれ1,340億円、690億円、1,270億円、40億円の事業別利益を目指します。

(単位：億円)

事業ドメイン	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 計画
国内損害保険事業	483	340	1,225	1,340
国内生命保険事業	-	-	1,674	690
海外保険事業	692	1,369	1,455	1,270
金融・一般事業	▲187	25	40	40

各事業別の利益は、それぞれの事業特性に照らして取り組み成果を適切に示す観点から、別添資料2. 各事業別利益のベースで定めます。

国内生命保険事業は、2015年度よりMCEVベースに変更していることに伴い、2014年度についてもMCEVベースの数字を記載しています。なお、MCEVの詳細につきましては、東京海上ホールディングス株式会社および東京海上日動あんしん生命保険株式会社から別途開示する説明資料（「東京海上日動あんしん生命 2015年3月末市場整合的エンベディッド・バリュの導入について」）をご覧ください。

本計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであるため、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

経営企画部 マネージャー 江原 潤 TEL 03-5223-3212

(東京海上日動広報部常駐)

修正純利益、修正 ROE（新定義）、事業別利益について

1. グループ全体の指標

修正純利益^{※1}

$$\begin{aligned}
 \text{修正純利益} &= \text{連結当期純利益}^{\text{※2}} + \text{異常危険準備金繰入額}^{\text{※3}} + \text{危険準備金繰入額}^{\text{※3}} + \text{価格変動準備金繰入額}^{\text{※3}} - \text{ALM}^{\text{※4}} \text{債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益} \\
 &+ \text{のれんその他無形固定資産償却額} - \text{固定資産に関する売却損益・評価損} - \text{その他特別損益評価性引当等}
 \end{aligned}$$

修正純資産^{※1}（平均残高ベース）

$$\text{修正純資産} = \text{連結純資産} + \text{異常危険準備金} + \text{危険準備金} + \text{価格変動準備金} - \text{のれんその他無形固定資産}$$

修正 ROE（新定義）

$$\text{修正 ROE} = \text{修正純利益} \div \text{修正純資産}$$

【修正純利益（新定義）と従来のグループ合計の修正利益（旧定義）との変更点】

	（新）修正純利益	（旧）修正利益
生命保険事業の利益	財務会計上の当期純利益を調整	EVの当期増加額
保有株式に係る売却・評価損益	控除しない	控除
異常危険準備金等の繰入額	控除 （変更なし）	控除
ALM 関連の売却・評価損益		
のれん・その他無形固定資産の償却費		
固定資産に係る売却・評価損益		

【修正純資産（新定義）と従来の修正資本（旧定義）との変更点】

	（新）修正純資産	（旧）修正資本
生命保険事業の資本	財務会計上の純資産を調整	EV
のれん・その他無形固定資産	控除	控除しない
異常危険準備金等	加算 （変更なし）	加算

2. 各事業別利益^{※1}

(1) 損害保険事業

$$\begin{aligned}
 \text{事業別利益} &= \text{当期純利益} + \text{異常危険準備金等繰入額}^{\ast 3} + \text{価格変動準備金繰入額}^{\ast 3} - \text{ALM}^{\ast 4} \text{ 債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益} \\
 &\quad - \text{保有株式・固定資産に関する売却損益・評価損} - \text{その他特別損益評価性引当等}
 \end{aligned}$$

(2) 生命保険事業^{※5}

$$\text{事業別利益} = \text{EV}^{\ast 6} \text{ の 当期増加額} - \text{増資等資本取引}$$

(3) その他の事業 … 財務会計上の当期純利益

【事業別利益（新定義）と従来の各事業別修正利益（旧定義）との変更点】

生命保険事業では、これまでの TEV（Traditional EV）ベースから、経済価値をより適切に反映する MCEV（Market Consistent EV）ベースに変更します。なお、MCEVの詳細につきましては、東京海上ホールディングス株式会社および東京海上日動あんしん生命保険株式会社から別途開示する説明資料（「東京海上日動あんしん生命 2015年3月末市場整合的エンベディッド・バリューの導入について」）をご覧ください。

	(新) 事業別利益	(旧) 修正利益
損害保険事業	変更なし	-
生命保険事業	MCEV の 当期増加額	TEV の 当期増加額
その他の事業	変更なし	-

※1 各調整額は税引後

※2 連結財務諸表上の「親会社株主に帰属する当期純利益」

※3 戻入の場合はマイナス

※4 ALM = 資産・負債総合管理。ALM の負債時価変動見合いとして除外

※5 一部の生保については(3)の基準により算出（利益については本社費等を控除）

※6 Embedded Value の略。純資産価値に、保有契約から得られるであろう利益の現在価値を加えた指標。